

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	<small>こなん</small> 湖南	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	滋賀県	対象市町村	<small>おおつし</small> 大津市ほか7市町
事業実施期間	H30 ～ H34 （5年間）	事業実施主体	県、市町、森林整備法人、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の南部に位置し、京阪神方面への通勤圏内にあり、特に南西部から中央部では住宅開発を中心とした市街地開発が著しい。</p> <p>本地区内の民有林面積は89千haで、人工林が38千ha（人工林率42%）であり、森林資源の有効利用が必要なⅧ～Ⅻ齢級を中心に、引き続き保育が必要なⅦ齢級以下の森林も存在している。これらの森林は水源涵養や災害防止などの役割を担ってきたほか、都市化が進んでいることから景観、森林とのふれあいなど保健休養の働きも果たしてきた。</p> <p>しかしながら、本地区の近年の森林・林業を取り巻く状況は、林業従事者の減少や高齢化、野生鳥獣被害の発生、木材価格の低迷による林業採算性の低下、森林所有者の森林経営意欲の減退など極めて厳しく、手入れ不足の森林がみられるようになってきた。このままでは、水源涵養はもとより地域の森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される。一方で、森林資源の充実とともに木材の再生可能な資源としての重要性や地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としての役割など森林の持つ多面的機能の発揮への期待が高まっている。</p> <p>本事業では、湖南地域森林環境保全整備事業計画に基づき、水源の涵養、県土の保全、地球温暖化防止など森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,614.5ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、森林作業道整備等</p> <p>総事業費：2,290,895千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.80 (総便益 (B) = 23,713,503千円、総費用 (C) = 3,040,090千円)</p>
評価結果	<p>必要性： 手入れ不足の森林が依然解消に至っていないことから、水源涵養など森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される。その一方で、森林資源の充実とともに木材の再生可能な資源としての重要性の高まりや地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としての役割など以前にも増して森林の持つ多面的機能の発揮への期待が高まっており、早急な事業実施が必要である。</p> <p>効率性： 間伐、更新伐などにおける施業の集約化、林業従事者の養成・確保、高性能林業機械の導入や森林作業道の整備などを計画的かつ総合的に実施されることになっており、効率的な事業の実施が期待できる。</p> <p>有効性： 森林資源の循環利用の推進により林業の成長産業化と適切な森林整備により、水源涵養、国土保全等の森林の多面的機能が発揮され、安全で安心できる生活の確保が期待できる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

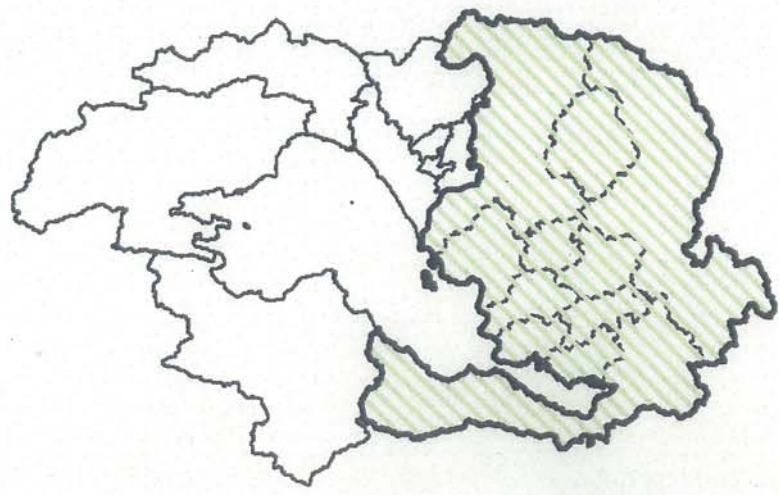
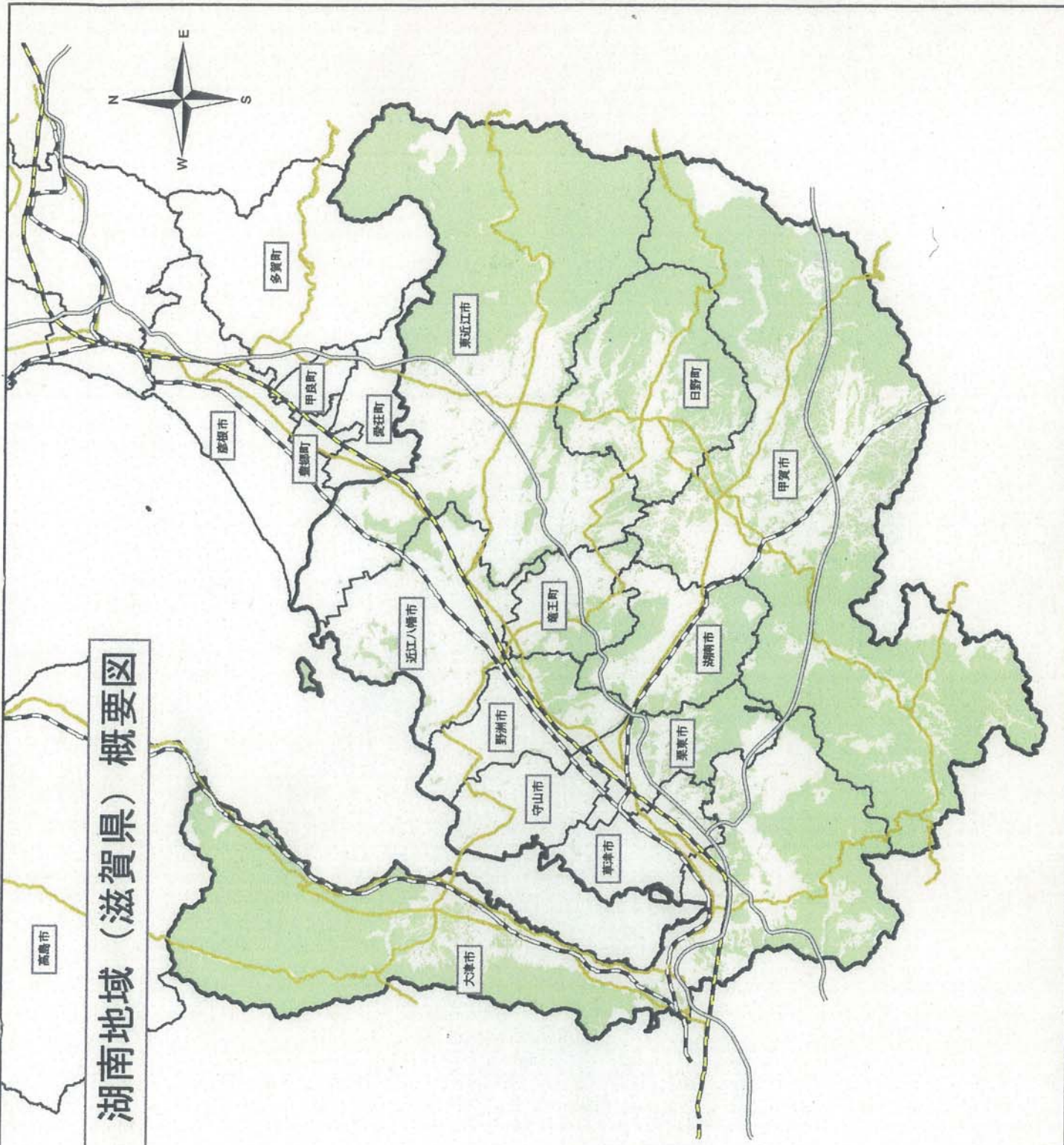
都道府県名: 滋賀県

地域(地区)名: 湖南^{こなん}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,500,620	
	流域貯水便益	1,123,583	
	水質浄化便益	2,546,688	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,411,585	
環境保全便益	炭素固定便益	4,798,194	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,332,833	
総 便 益 (B)		23,713,503	
総 費 用 (C)		3,040,090	
費用便益比	$B \div C = \frac{23,713,503}{3,040,090} = 7.80$		

森林環境保全整備事業 湖南地域（滋賀県）概要図



凡例

- 計画区界
- ▨ 事業区域
- 森林整備